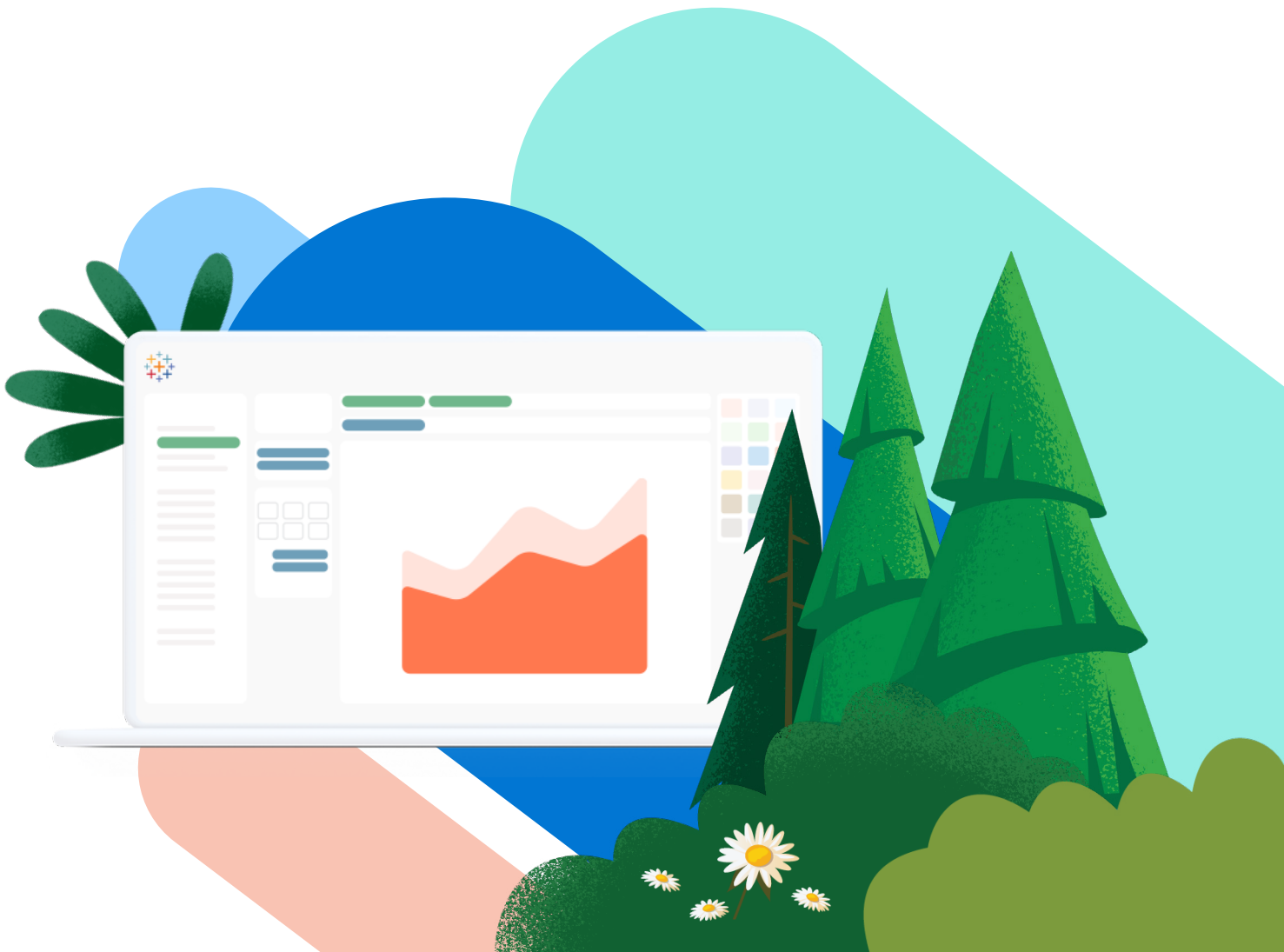




Tableau のガバナンス

規模に応じた、リアルタイムのセルフサービス分析を実現



目次

はじめに	3
パート 1	
信頼できる管理された統合	4
パート 2	
信頼できる管理されたアクセス	6
パート 3	
信頼できる管理された監視	8
今すぐ始める	9
Tableau について	10





はじめに

ビジネスのやり方に対するガバナンス

JPMORGAN CHASE & CO.

JP Morgan Chase (JPMC) 社は、従来のビジネスインテリジェンス、IT 部門によるデータ分析のモデルから脱却し、ビジネス部門によるセルフサービス分析モデルへの転換を図るため、Tableau を導入しました。規制が非常に厳しく、競争の激しい銀行業界では、こうした転換によって業界の急速な変化に対応することが可能になり、さらに大きな成功のチャンスをつかめるようになりました。現在は、企業ガバナンスやコンプライアンス要件とバランスを取りつつ、JPMC 社全体で 500 以上のチームが戦略的な意思決定を行うために Tableau を活用しています。

誰もがどこからでもデータにアクセスできることは、ビジネスにとって不可欠な条件です。より少ない人員と予算でより多くを達成する必要があるなど、今日の非常に差し迫ったビジネス上の課題の回答はデータにあります。後はそれを見つけるだけです。

独自の信頼できるデータが適時提供されれば、直感にとらわれることなく実用的なインサイトを提示し、生産性と効率性を最適化して、戦略的な取り組みを推進することができます。また、急速な変化に迅速かつスマートに対応して、次の動きを予測するのにも役立ちます。

そのため、組織ではあらゆる階層のユーザーがリアルタイムなデータと分析環境を利用できるようにしています。ビジネス全体のチームに実用的なインサイトをリアルタイムで提供すると、新しいビジネスチャンスを開拓したり、コストを削減しつつ効率性と生産性を高めたりすることができるほか、ビジネスに関する総合的かつ信頼できるビューを活用して、よりスマートかつ迅速な意思決定を行うことが可能になります。

適切な規模でデータと分析環境のガバナンスを行うことで、IT 部門とビジネス上の意思決定者の両方が、厳格で制限されたアクセスから離れて、アジャイルかつコスト効率の良い最新のアプローチを採用することができます。そして、ビジネスニーズに基づいて、適切なタイミングで適切なユーザーに信頼できるインサイトを提供できるようになります。成功を収めているリーダーたちは、データ戦略の導入、データ管理への投資、運用の簡素化を行っています。今では、Customer 360 に導入された Tableau により、実用的なインサイトをリアルタイムで提供するところまでできています。こうしたアプローチでは、IT 部門とビジネス上の意思決定者との間で連携が求められます。

このガイドでは、Tableau のガバナンスが、次の 3 つの主要領域にわたって制御、役割、繰り返し可能なプロセスを確立することで、信頼と自信を生み出す方法について説明します。

パート 1: 統合

パート 2: アクセス

パート 3: 監視



パート 1: 信頼できる管理された統合

容易な統合により、責任あるデータ利用の管理と、よりデータドリブンな組織の実現をサポート



国際連合世界食糧計画 (WFP) は、将来の成長を支え、促進するためには、正式なガバナンス戦略が必要であることに気付きました。「私たちには、このガバナンス構造の各要素がどのようなものなのか、あまり明確な像が描けていませんでした」と、WFP で最高データ・分析責任者を務める Prianka Nandy 氏は述べています。WFP は、組織全体の活発なデータカルチャーを支える能力の構築プロセスの指針として、Tableau Blueprint を活用しました。「今この瞬間も、データを組織内でより強力な資産とし、内部で新たなレベルに引き上げようと取り組んでいます」

Tableau を活用することで、管理されたデータおよび分析環境に本格的なセルフサービスを容易に導入することができます。既存のテクノロジーインフラストラクチャやビジネスモデルに適合するため、より広範なエンタープライズアーキテクチャとデータエコシステムに容易に統合できます。

Tableau を活用すると、Tableau Cloud による完全ホスティング型 SaaS や Tableau Server によるオンプレミスクラウドまたはパブリッククラウドを利用できるほか、Salesforce で CRM Analytics をネイティブで使用できるようになります。

Tableau の柔軟なモデルにより、既存のテクノロジー投資と専門知識を活用するだけでなく、組織の標準に準拠したネイティブな ID、セキュリティ、データアクセスポリシーと合わせて、Tableau をご利用の環境に容易に統合することもできます。

Tableau Blueprint を使用してガバナンスのプロセスを作成し、一元管理、委任、セルフガバナンスのシナリオを実現します。

一元管理

- データアクセスは一元管理しているグループが担当
- コンテンツ作成は一元管理しているグループが担当
- 多くのユーザーがコンテンツを表示、操作可能



委任

- データアクセスはトレーニングを受けたグループが担当
- パブリッシュされたデータソースが使用可能
- コンテンツはパブリッシュされたデータソースを使用しており、一部のユーザーが変更可能



セルフガバナンス

- オープンなデータアクセス (認証プロセスが必要)
- コンテンツは誰でも作成可能 (認証プロセスが必要)
- コンテンツは変更可能 (認証プロセスが必要)



パート 1 (続き)

あらゆるデータの接続、整理、管理を 一目で把握

Tableau を導入したところ、一気に利用が拡大し、2 年も経たないうちに、ユーザーは 2 万人まで増えました。この成功の理由は、データの信頼性とガバナンスを確立しながら、ビジネス部門の強化とより高い可視性の実現の間で適切なバランスを取れたことにあります」

Honeywell

Sherri Benzelock 氏

ビジネス分析担当 VP

Honeywell 社トランスフォーメーション部門

Tableau を使用すると、データの信頼性と最新性を確保するために必要な可視性と制御能力を維持しつつ、組織で収集した大量のデータを日々管理することができます。

従来のビジネスインテリジェンス (BI) 環境では、セキュリティ (またはその認識) は多くの場合、アクセス権や複雑なシステム、およびそれを効果的に使用するのに必要なスキルを持つ少数の担当者が実現しています。データへのアクセスを制限することで、ある程度セキュリティを確保できる可能性があるものの、ビジネス部門にとって便利であるとは言えません。

Tableau のガバナンスでは、役割やニーズの変化に応じて適切な監視を実現するメカニズムにより、データを準備してそれをパブリッシュおよび利用するまでの分析サイクル全体を、信頼できる環境で実施することができます。

分析スキルが向上し、ビジネスニーズが変化するにつれて、チームが行う質問も自然と複雑になり、新たなトレンドを調査して、先入観にとらわれなくなります。データ探索からコンテンツの作成、キュレーションまで、役割とニーズはより流動的になっており、Tableau はそうした環境の中で、コストを抑えながらも、適応して信頼性を確保することに取り組んでいます。

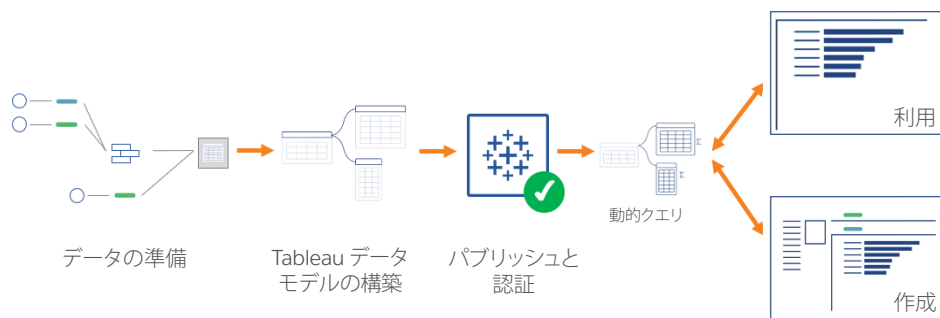


Tableau 独自のアプローチでは、価値の高いメタデータ、リネージ、データ品質に関する警告を分析フロー内で直接得られるようにしながら、必要な可視性、セキュリティ、ガバナンスを実現するため、セルフサービスのデータ管理が可能になります。

包括的なデータ管理機能によって次のことが可能になります。

- ・ データリソースを一元管理して、複数のソースからシンプルにデータを組み合わせる
- ・ データを準備してデータモデルを構築し、パブリッシュ、認証を行うための、繰り返し可能なプロセスを確立する
- ・ ユーザーが、最新かつ正確で関連性が高い、信頼できる管理されたデータに基づいて、コンテンツを作成および利用できるようにする

パート 2: 信頼できる管理されたアクセス

固有の要件や変化する要件に合わせてアクセスをカスタマイズ

Creator: 分析コンテンツを作成します。これには、デザイン、クリーニング、データソースのキュレーション、ビジュアライゼーションやダッシュボードの作成などが含まれます。

Explorer: Creator がパブリッシュしたデータを利用、分析するだけでなく、独自のダッシュボードを作成して配布することができます (管理された作成)。

Viewer: パブリッシュされたビジュアライゼーションとダッシュボードを表示、操作するだけでなく、コンテンツに登録して更新情報やアラートを取得することができます。

Tableau におけるガバナンスは、単純にライセンス所有者に基づいてアクセス権を付与するだけではありません。適切なユーザーが適切なタイミングで適切なデータ入手できるように、ユーザーがガバナンスのポリシーと手順を定義します。役割や責任は各組織に固有のものであるため、Tableau はそのまま使えるモデルには重きを置いていません。

また、ガバナンスポリシーの質は、それに従うユーザーの質によるところが大きいため、Tableau ではユーザーの分析スキルの向上に合わせて、適応と変更が簡単に行えるようにしています。

Tableau では、どのようなスキルレベルでも、いつでも責任あるデータのを使用を行えるように、以下の機能を備えたカスタマイズ可能なガバナンス機能を提供しています。

- **管理を委任する:** ボトルネックを軽減するために、サーバーからサイトやプロジェクトまで、管理の範囲を指定してタスクを割り当てることができます。
- **サイトロールを通じてコンテンツを制御する:** ユースケースに合わせて特定のアクセスレベルを有効にできるように、グループやユーザーに対して、ライセンスタイプに関係なく機能をカスタマイズすることができます。
- **継続的なフィードバックを提供する:** コンテンツにアクセスして探索したり、信頼できるコンテンツを利用したりする必要のあるユーザーを、コンテンツ所有者が継続的に調整することができます。
- **ユーザーのスキルをライセンスタイプにマッチさせる:** Tableau には Creator、Explorer、Viewer の 3 つのライセンスタイプがあります。ユーザーのスキルやガバナンスのニーズ (作成や利用など) に合わせて、特定のタイミングで適切なアクセス権を付与できます。
- **データの固有の要件に合わせてアクセスをカスタマイズする:** データのタイプに応じてガバナンス要件の種類も変化するため、Tableau はガバナンスを多様なものとして捉え、ユーザーがアクセス要件をパーソナライズできるようにしています。



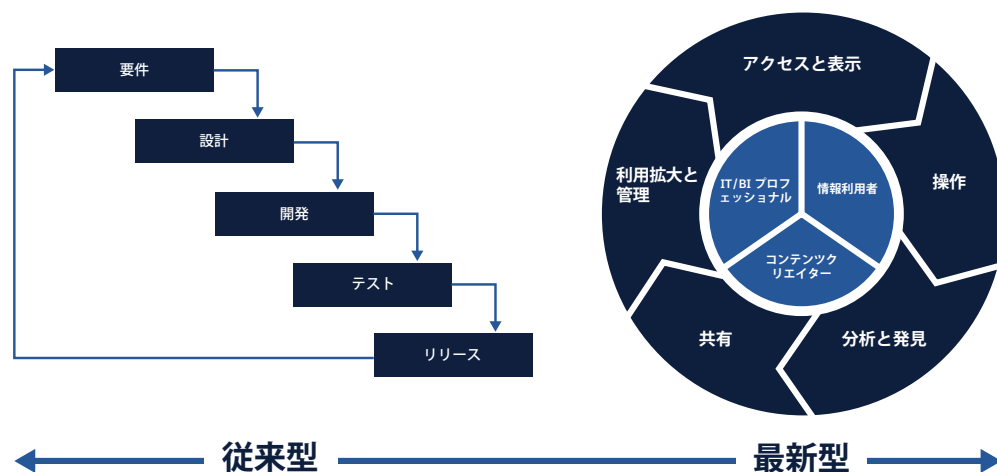
パート 2 (続き)

お客様のやり方に沿うように設計された、あらゆるワークフローのためのガバナンス

Tableau は、Tableau Blueprint を通じて規範的なガイダンスを提供し、以下に示すような最新型から従来型までのあらゆるタイプのワークフローをサポートします。

- 最新型のワークフロー**：認証された信頼できるリアルタイムのデータを活用し、チームで独自の質問をして、それに対する回答を得られるようにします。さらにその後、得られたインサイトをチームや組織の他のユーザーと迅速かつ容易に共有できるようにします。
- 移行段階のワークフロー**：時間の経過とともに分析スキルが向上するのに合わせて、従来のトップダウン型の BI アプローチと、チームへの段階的な責任の委任の両方を組み込みます。
- 従来型のワークフロー**：IT プロフェッショナルや一元管理している所有者が、ウォーターフォール型のアプローチで要件をまとめてデータを分析し、情報利用者向けにレポートを準備します。

あらゆるタイプのワークフローをサポート



パート 3: 信頼できる管理された監視

企業全体におけるデータガバナンスの詳細な可視化を実現

非常に規制の厳しい分野でセルフサービスを実現すること、つまり、メタデータを収集して Tableau でそのデータの系統を提供するツールに、標準的なプラットフォーム、適切なデータ管理、適切なガバナンスを備えることで、IT 部門による対応を待つ必要がなくなるため、ユーザーの満足度が高まります。また、ユーザーの満足度が高まることは、IT 部門の満足度の向上にもつながります」

JPMORGAN CHASE & CO.

Sriram Belur 氏

ビジネスインテリジェンス担当責任者
デリバリーセンター、
JP Morgan Chase 社

ソフトなガイドラインから断固たる境界まで、組織は内部のポリシーや手順と全体的なビジネスニーズに準じた、データとコンテンツの管理に対応する独自のガバナンスモデルを設計することができます。

こうしたアジャイルかつ反復的なアプローチにより、組織全体でユーザーによる適応とエンゲージメントが向上するため、新たなビジネス要件に適応する力が生まれます。柔軟性と制御の適切なバランスを定められるため、安全かつ管理されたコスト効率の良いモデルで、適切なデータが適切なオーディエンスへ確実に届くように監視することが可能になります。

使用状況（使用されたデータ、使用者、使用頻度）の可視化も強化されており、ガバナンスのガイダンスに関する情報を得るうえで役立ちます。Tableau の組み込み済みの管理ビューによって、管理者は使用状況とパターンをシステム、データ、コンテンツレベルでモニタリングして、容易に把握することができます。また、カスタム管理ビューを作成し、Tableau リポジトリのデータから直接質問に答えることも可能です。チームのデータ使用状況についてのリアルタイムな情報によって、望ましいライセンスの割り当て方法や、リスクを最小限に抑えて予算を最大限に活用するための役割について、先を見据えたガイダンスを得ることができます。



PEMCO 社は、Tableau を使用してすべての保険請求を追跡し、モニタリングしています。同社は請求をスムーズに処理するために、オープンソースアプリケーション、自動化、ダッシュボードを組み合わせ、自社のサーバーエコシステムをモニタリングおよび管理しています。また、Tableau の権限を使用して、常に適切なユーザーのみが請求関連のデータにアクセスできるようにしています。すべてのデータと分析機能にいつでもアクセスできるようにすることで、同社はデータの活用を推進しました。今では、毎月少なくとも社内の半数を超えるユーザーがデータを活用するようになっています。

さらに、同社のチームは、45 個の Tableau ダッシュボードを活用して、自社のエコシステムをモニタリングしています。これらのダッシュボードでは、すべてのハードウェアとアプリケーションに関する詳細な概要に加えて、監査とコンテンツ整理に関する権限も確認することができます。同チームは、問題を迅速に特定し、生産性を高めてダウンタイムを回避することが可能になりました。



**お客様の
成功事例**

Tableau の導入以来、PEMCO 社では請求処理率が大幅に向上し、顧客満足度も高まっています。

「データを見る方法に関する当社のガバナンスの定義は、ある意味で変わりました。以前はセルフサービスでした。つまり、必要なデータは取得できるものの、それがどこから来たかは確認が得られない状態でした。しかし今では、データに関する標準と一貫性を確立できるようになっています」

Abercrombie & Fitch

Daniel Trimmer 氏

製品向けソリューション担当

シニアマネージャー

Abercrombie 社

すぐに始める

今日のデータドリブンな世界では、競争力を維持し、より少ない人員と予算でより多くを達成するために、自動化された柔軟でスマートなアプローチが必要になります。企業における日々の意思決定のやり方を変革することは決して容易ではありませんが、リアルタイムのデータや分析環境、セルフサービスインサイトを意思決定のサイクルに組み込むことで、変化する環境において、あらゆるチームのあらゆる人が迅速にアクションを取ることの実現につながります。

ビジネス変革に合わせてガバナンスポリシーを再構築することができるため、Tableau Blueprint は信頼できる環境で組織全体に分析環境を拡張するのに最適な手法です。また、技術要件とデータ環境が変化し続ける中で、Tableau Blueprint は信頼できる管理された環境で組織全体に分析環境を拡張する方法を提示します。

さらに、Salesforce Customer 360 の顧客データプラットフォームである Tableau では、リアルタイムのデータの力を活用できます。よりパーソナライズされたエクスペリエンスと、場所を問わずにデータに基づいてアクションを取るための機能を活用することで、特別なカスタマーエクスペリエンスの実現を促進することができます。

方法を確認する

TABLEAU BLUEPRINT

Tableau Blueprint はデータドリブンな組織になるためのガイドラインを提供します。Tableau Blueprint アセスメントを受けて、詳細を確認してみましょう。

Tableau Blueprint のリソース

[モダン分析ワークフロー](#)

[Tableau のガバナンス](#)

[Tableau のガバナンスモデル](#)



TABLEAU

変化のスピードに合わせて意思決定を行い、実用的なエンドツーエンドの分析環境で今すぐ成功を実現しましょう。



インサイトを リアルタイムで 提供

Salesforce Customer 360 の顧客データプラットフォームである Tableau で、リアルタイムデータの力を活用しましょう。変化する環境で、あらゆるチームのあらゆる人が迅速にアクションを取れるように支援します。また、信頼できる分析機能とクラウド全体における単一の顧客ビューによって、利益の改善を実現します。

すべてのデータの
自動分析

インテリジェントな
予測分析

コラボレーション対応の
リアルタイムのインサイト

詳細はこちら

TABLEAU



Tableau について

Tableau は、お客様がデータを見てそれを理解できるように支援します。世界をリードする分析プラットフォームである Tableau は、強力な AI、データ管理、コラボレーション機能を備えたビジュアル分析を提供します。個人からあらゆる規模の組織に至るまで、世界中のお客様が Tableau を選び、その高度な分析を使用して、実効力のあるデータドリブンな意思決定を促進しています。詳細については、tableau.com を参照してください。

また、Tableau は、企業を顧客データの共有ビューにつなぐ顧客関係管理 (CRM) プラットフォームの Salesforce Customer 360 と統合されているため、ワークフローに直接埋め込まれた直感的に使用できる強力な包括的な分析機能を、すべての部門で活用できます。顧客データを仕事の中心に据えることで、顧客や従業員との関係を成長させることができます。

 **tableau**
from  Salesforce

